

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

九十九島牡蠣の通年供給システムの構築と販路開拓

九十九島牡蠣を通年にわたり出荷できるよう、人工的に種苗生産を行い夏牡蠣を商品化するとともに、国内だけでなく、海外、特に中国のマーケット開拓を行う。

連携体

農林漁業者 (有)マルモ水産(飲食料品卸売業・水産養殖業)、永谷養殖(水産養殖業)

真珠養殖技術を活用して、種苗生産から養殖までを協同して実施する。

中小企業者

(有)ベイブレイス(飲食料品卸売業)

海外向け、主に中国向け販路開拓への強みを活かして牡蠣を販売するとともに、(有)マルモ水産の経営コンサルタントとして連携する。

サポート機関等

佐世保商工会議所、地域活性化支援事務局

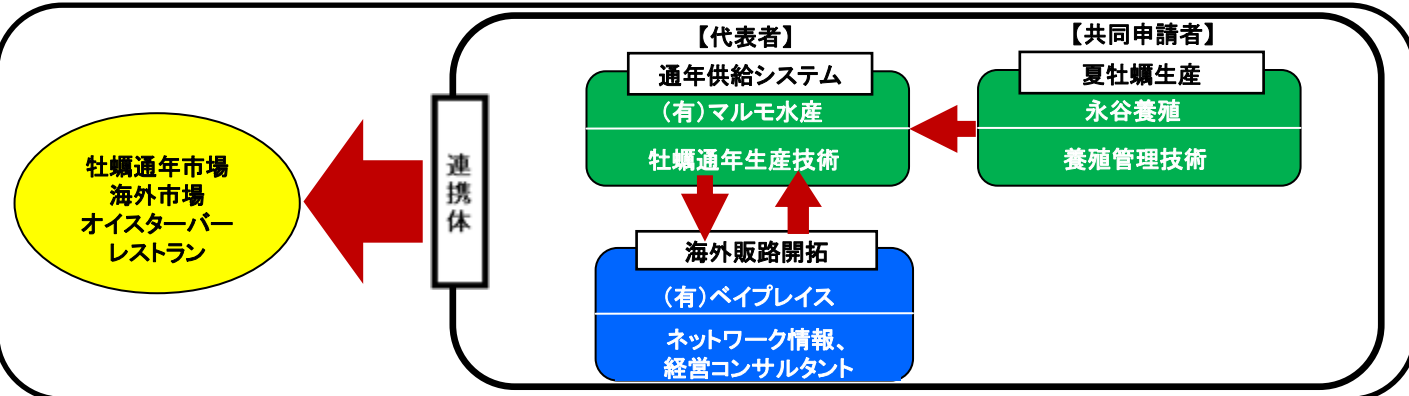
連携の経緯

(有)マルモ水産は、関東中心に販路を有し、徹底した品質と衛生管理で売り上げを伸ばす中で、顧客から夏場も含めた通年供給を求められることが多く、さらに、中国からの要望もあった。真珠養殖の技術を活用して、夏牡蠣を生産することに成功したことから、事業化を目指すために夏牡蠣の生産に適した技術を有する永谷養殖と海外販路開拓に強い(有)ベイブレイスと連携するに至った。



連携に当たっての課題や工夫等

(有)マルモ水産は、九十九島牡蠣の通年供給システムの構築に必要な技術を有しており、種苗生産した稚貝を永谷養殖の協力を得て最適な環境の下で育成し、徹底した衛生管理の下、夏場でも安心・安全な牡蠣を出荷する。また、(有)ベイブレイスと協力して、国内外の販路開拓を進め、特に(有)ベイブレイスの情報網を利用して中国への販路開拓にも注力する。



連携による効果

農林漁業者 5年で2,550万円の売上高増、夏牡蠣の生産確立、新規販路による収益増

夏牡蠣の生産を確立し、通年の牡蠣出荷及び中国への出荷により利益増大が期待できる。

中小企業者 5年で750万円の売上高増、供給システム構築、販路拡大による収益増

牡蠣の通年供給システムの構築により、販路拡大が期待できる。

代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社マルモ水産	所在地：佐世保市船越町944
T E L：0956-28-0620	F A X：0956-28-6350
E - m a i l：kaki@marumo99.jp	ホームページ：http://www.marumo99.jp/